

明治 150 年、女性差別は続く

— 男性優位の社会通念を変えるには —

10月25日(日) 14:00~16:30

開場 13:30 講演 2時間 途中休憩あり

会場：平塚市中央公民館 4階 小ホール

(平塚市追分 1-20 電話 0463-34-2111)

講師：江刺 昭子氏



コロナ禍で社会が変化するなか、男女格差が拡大している。なぜなのか。日本社会では政治、経済、司法…どの分野も男が占拠している。それは、男は優れ、女は劣るという男尊女卑観に基づく制度が、明治以来、存在してきたことによる。制度化の過程での男女のせめぎあいにも注目しながら、男女不平等の歴史をひもとく。

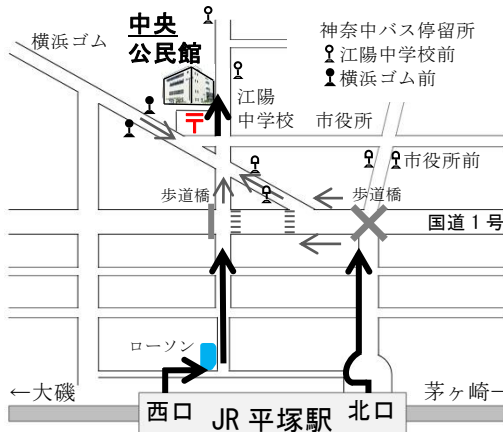
参加費：500円 (資料代含む)

定員：50人 (要予約) 申込み期限 10月24日

江刺昭子氏プロフィール

広島県出身。大学卒業後、女性誌の編集を経て、ノンフィクション作家、ジャーナリストとして独立。広島で被爆した作家大田洋子の評伝『草履(くさずえ)』で、1972年第12回田村俊子賞受賞。『女のくせに一草分けの女性新聞記者(ジャーナリスト)たち』『透谷の妻—石坂美那子の生涯』『樺美智子聖少女伝説』など著書多数。神奈川県的女性史編さんや、県内女性史研究グループの指導育成に尽力し、2010年第59回神奈川文化賞受賞。女性史研究の現場から、「47NEWS」(HP)への寄稿など時事評論を発信し続けている。

※平塚駅西口・北口より徒歩約20分。バスの経路や時刻表等詳細は、あらかじめ下記へお問い合わせください。自家用車でのご来場はお願いいたします。
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、マスク着用等をお願いいたします。
※発熱など体調不良の場合は、参加をご遠慮ください。



共催：女性史に学ぶ会 平塚市人権・男女共同参画課
後援：かなテラス (神奈川県立かながわ男女共同参画センター)

お問い合わせ・予約申込み (電話または E-Mail で氏名・連絡先をお伝えください。)
女性史に学ぶ会 担当：星賀 0463-71-6471 (携帯電話：090-6655-7862) nonnorike@yellow.plala.or.jp